

やまぐち 11月15日

面目一新の佐山小学校

開校百周年記念碑も建立



佐山小学校（児童数二百四人）の面目を一新する全面改築工事の完工と、開校百周年を祝う記念式典が、十一月一日、堀市長、学校関係者ら三百人が参列して開かれ、佐山小学校の新たな発展を祝いました。

完成した校舎は、四十八年から三か年の継続事業で行なわれたもので、明るいクリーム色の鉄筋二階建の棟には普通教室六、理科室、音楽室、家庭科室、図工室があります。

▲新装なった佐山小学校校舎

▶開校百周年記念碑の除幕式



鉄筋平屋建ての管理棟には校長室、職員室、保健室、図書室、放送室、給食室などがあります。屋内運動場、運動場の改築整備もされ、総工費は、二億二千四百七十五万円でした。

また、開校百周年を迎えて記念碑が建立され、これの除幕も行なわれました。この碑には同校出身で元最高裁判所判事の河村又介さんによる書「道」が刻まれています。

市では昭和四十五年に、六十年をめざして「山口市開発基本構想」をつくり、広域都市圏の構成、生活環境、産業基盤の整備などについて、山口市の開発基本構想を作成していました。

紙を郵送し、十六日までを調査期間にしました。調査用紙が届いたかたは、ぜひご協力いただき、二十四日までには回答をよせられますようお願いいたします。

なお、この調査の内容は山口は住みよいと思われませんか。市政に関心がありますか。これから山口はどのようなまちに発展したらよいと思われませんか。近代化や開発がすすむにつれて、山紫水明の古都的ふんいきが失なわれつつありますが、このまちのふんいきについて、市の施策として何を重点に行なったらよいか。住民福祉と住民負担についてなど、山口市のこれから進むべき方向や市民生活に関する二十一の設問がされています。

住みよい山回のまちづくり 市民の意識調査を実施

山口市民憲章

一、自然をたいせつにし、美しい環境を守りましょう。

一、スポーツに親しみ、健康なからだをつくりましょう。

一、互いに助け合い、生活を豊かにしましょう。

一、きまりを尊び、良い風習を育てましょう。

一、郷土を知り、文化財の愛護につとめましょう。

この集計の結果は、来年の二月初旬にまとめて報告書もつくり、今後の市政の発展や運営に役立てることになります。

みんなの生命と財産を守る

秋の火災予防運動

11月26日～12月2日



これからは火事のシーズンです。みんなの家庭で、火事を出さないよう十分注意しましょう。

朝夕の冷え込みも、一日と
きびしくなり、どこの家庭でも
ストーブ、こたつなどの暖房器
具を用意される季節になりました。
た。

これからの一年中で、もっと
も火災の多くなる季節です。
それで、十一月二十六日から

幸せを明日につなぐ火の始末

いに十分注意をしましょう。

■六日に一件発生

ことしの一月から十月末まで
に、市内で発生した火災は、建
物二十六件、山林十二件、車両
その他十五件を合せて五十三件

十二月二日まで、全国いっせいに「秋の火災予防運動」が行なわれます。
わずか十数分でたいせつな家を、財産を、そのうえ生命まで奪う火災を出さないよう、お互

で、これを昨年の同期（六十九件）に比べてみますと十六件減少しておりますが、この火災で五人が死亡され、五人の負傷者が出ており、年ごとに死傷者が多くなっていることは、ほんとうに残念なことです。

■一般家庭の出火が多い

建物火災では、毎年一般家庭からの出火が多く、ことしは十六件もありました。

出火した場所別では、台所が六件、風呂場五件、居間五件となっており、出火原因の大半は火を扱う人の不注意、不始末によるものです。

毎日使っている火も慣れてしまつと、つい「うっかり」しがちになりますが、くれぐれも慎重な取り扱いと、念入りの点検を行なってください。

安全な場所で安全な器具を正しく使い、跡始末を完全にすることが火災予防の方法です。
●火災を起さないための点検ポイント
(台所)

- ・ガスコンロ、簡易湯沸器、レンジなどの燃焼器具は安全か。
- ・ガス栓、ゴムホースのガスもれ箇所はないか。
- ・燃焼器具の近くに燃えやすい物をおいていないか。
- ・ガスコンロの上にふきんか

- ・けや棚などはないか。
- (風呂場)
- ・煙突はこわれていないか。
- ・煙突と可燃物（木部）が接触していないか。
- ・たき口のまわりに、燃料や紙くずなどがちらばっていないか。

(居間)

- ・ストーブ、こたつなどの暖房器具は安全か。
- ・ストーブは燃えやすいもの（障子、ふすま、カーテンなど）の近くで使用していないか。
- ・寝たばこをしていないか。
- ・電気アイロン・ヘアードライヤーなどの電気器具は安全か。
- ・ひとつのソケットからたくさん

(その他)

- ・石油ストーブの燃料（灯油）は、火の気のない安全な場所に保管されているか。
- ・建物のまわり（屋外）に燃えやすい物をたくさんおいていないか。

- 火災から命を守るための点検ポイント
- ・老人、子ども、病人などの就寝場所は、早く避難できる安全な場所か。
- ・避難出口は二か所（二方向）以上あるか。
- ・二階以上の建物には、ロープが用意してあるか。
- 火災が起きたときの被害を少なくするための点検ポイント。



てんぷらをするとき

は注意して

昨年、てんぷら油の過熱で火災が六件もあり、ことしも二件ありました。

出火原因を調べてみますと、揚げ物をしているときに、電話がかかったり、訪問客があったりして、ちよつとの間だからと油断して、火を消さないでその場を離れたりしています。

てんぷらを揚げるときの温度は、百六十度～百八十度ぐらいが適当とされています。適温になるまでに、鍋をこんろの火にかけてから三～四分の時間がかります。

ちよつと他の用事をと油断してしまいますと、鍋の油温はどんどん上り、七分くらいで二百八十

- ・消火バケツ、消火器などの消火準備がしてあるか。
- ・消火用水になる風呂の湯は朝までおいてあるか。
- ・消火用具はすぐ使えるように、見やすい場所においてあるか。
- ・薬品消火器の使い方家族全員が知っているか。
- ・消防署に火災を知らせる緊急電話（一一九番）を家族全員が知っているか。

度ぐらになり、油から煙が出はじめて、マッチの炎を近づけると引火する危険な状態になります。

さらに三～四分も経過しますと、油の温度は三百七十度～四百度ぐらになり、油自体が発火して燃えだします。

つまり油鍋をこんろの火にかけてから十一分まで発火します。このようなことを十分知っておられ、揚げ物をされる際には、その場を離れないこと。離れるときはこんろの火を絶対に切ることが必要です。

万一、てんぷら油が燃えだしたときは、鍋にふたをするか、消火器を使用してください。

人口は十万六千九十九人

国勢調査の概数まとまる

十月一日に行なわれた五十年の国勢調査の概数がまとまりました。

世帯数は三万三千七百二十六

で、前回にくらべて一・三割ふえました。人口は十万六千九十九人で前回にくらべて五割ふえ、戦後の国勢調査ではもっとも高い伸び率です。

過去の統計では、昭和二十五年九万六千八百八、三十年九万九千六百六十人(三・八割)、三十五年十萬一千九百六十六人(二・三割)、四十年九万八千九百七十七人(△二・九割)、四十五年十萬一千四百一十一人(二・一割)となっています。

今回の調査で、人口の男女別は、男五万六千三百三十三人、女五万五千四百六十六人でした。

「わが家の家計簿」

体験談募集

家計簿をつけることを奨励し、合理的な生活設計や計画的な貯蓄をすすめる、家庭生活の安定をはかるために、第二十二回「わが家の家計簿」体験談の募集が始まります。

期間 十二月一日から五十二年二月末日まで。

主催 貯蓄増強中央委員会、県貯蓄推進委員会

内容 ○家計簿をつけ始めた動機や記帳上の苦心談○家計簿で発見したムリやムダ○家

世帯数の伸びが人口総数にくらべて非常に多くなっており、核家族化の現象も強まっています。

入口の推移は、自然動態(出生・死亡)と社会動態(転入・転出)によります。

昭和四十八年からようやく社会動態が自然動態を上廻り、他都市から移り住む人が少しづつではありますが増加してくるようになっていました。

人口の増加した理由については、これからくわしく調査しなければなりません。この五年間の動きからしますと、道路公団、道路管理会社などの建設業、関連業、電器具、住宅メーカーなどの製造業が進出して従事者が増加してきたこと、住宅団地

計簿をもとにしたこれからの明るい生活設計など。
原稿 四百字詰原稿用紙五枚(二千字)以内。月別、項目別支出一覧表を添付のこと。
申し込み 県庁県民課内貯蓄推進委員会へ。

南部地区で

心配ごと相談所

南部地区のみなさんを対象とした「心配ごと相談所」が次の日程で開かれます。

法律、行政、人権ほか日常生活で一般的な心配ごとを、行政

が定着したこと。学生が増加したことがあげられます。

地区別では、旧市内大蔵、白石、湯田の人口が四万一千三百五十人と、前回の四十五年に比べて二千五百二人減り、逆に平川が二千四百九十七人、宮野一千九百五十七人、大内一千五百四十六人増加しています。大内が一千五百四十六人増加しています。これは、住宅が市街地がいつばいで、平川、宮野、大内、吉敷、大蔵に住宅団地ができて、ドーナツ化現象があらわれてきたことです。

また、国道沿線地域の小鯖、鑄銭司、佐山などの人口が増加したことも注目されます。

小鯖は山口、防府地域の住宅地に、鑄銭司は防府、宇部地域の住宅地、老人ホーム梅光園の新設、るり学園の定員増加、佐山は宇部地域の住宅地となったことが原因のようです。

相談員、人権擁護委員、法務局職員、民生委員などが相談に応じます。ご利用ください。
日時 十二月五日(金)十時から十五時三十分まで
場所 名田島公民館

電話の申し込みは

本人が電話局へ

電話新設の申し込みは簡単です。なるべく本人が直接電話局(熊野町四一五)の窓口へお出かけください。印鑑も手数料も不要です。

いままでは、電話の申し込み

昭和50年国勢調査概数

	45年				50年				B/A
	世帯数	人口計	男	女	世帯数	人口計	男	女	
合計	29,908	101,041	48,057	52,984	33,726	106,099	50,633	55,466	105.0
山口	14,593	43,852	20,875	22,977	14,548	41,350	19,609	21,741	94.3
仁保	949	3,884	1,808	2,076	938	3,720	1,733	1,987	95.8
小鯖	734	2,966	1,397	1,569	799	3,000	1,416	1,584	101.1
大内	1,762	6,794	3,225	3,569	2,340	8,340	4,011	4,329	122.8
宮野	2,182	7,610	3,470	4,140	2,881	9,567	4,410	5,157	125.7
吉敷	1,223	4,626	2,201	2,425	1,588	5,505	2,641	2,864	119.0
平川	2,104	5,892	3,132	2,760	3,579	8,389	4,472	3,917	142.4
大歳	1,336	4,516	2,166	2,350	1,848	5,595	2,668	2,927	123.9
陶	637	2,558	1,184	1,374	648	2,508	1,198	1,310	98.0
鑄銭司	686	3,189	1,551	1,638	728	3,230	1,573	1,657	101.3
名田島	484	2,114	967	1,147	493	1,998	913	1,085	94.5
秋穂二島	904	3,846	1,821	2,025	927	3,652	1,705	1,947	95.0
嘉川	1,656	6,536	3,049	3,487	1,702	6,521	3,043	3,478	99.8
佐山	658	2,658	1,211	1,447	707	2,724	1,241	1,483	102.5

を他人にまかせて思わぬ損害をこうむった例がありますので、ご注意ください。

巡回児童相談

県中央児童相談所、山口市中心の相談室では、十二月八日(月)、十時から十三時まで嘉川公民館で児童相談(養護、家族関係、長欠不就業、教護など)を開催します。

子どものことでお困りのかたは、嘉川地区に限らずどなたでもお気軽にご相談ください。なお、料金は無料で、秘密は

労働大臣表彰の

佐々木嘉彦さん

優秀な技能者に対して、十一月十日に東京で労働大臣表彰が行なわれました。山口県では円政寺町の佐々木嘉彦さんが受賞されました。

佐々木さんは、大正七年から檜皮師として、県内外の国宝、重要文化財の屋根修理などで、建造物の保護、保存に尽くされ、優秀な技能者として認められたものです。

防火教室を開きましょう

開きましょう

消防署では、町内会、婦人会、事業所などを対象に「移動防火教室」を開設して、火災防止につとめています。

内容は防火のはなし(約一時間)と油火災、プロパンガス火災などの消火実験(三十分)です。

開催を希望されるかたは消防署(電話①一四七〇)へご連絡ください。費用は無料です。

働く青少年の

善行者を表彰

青少年補導センターでは、働く青少年の中で、特に職場や地域のためによく尽くした次の人に対して、その善行を表彰することにしました。

- ・吉岡寛(吉敷)。
- ・山本孝子(朝田)。
- ・山崎八重子(小郡)。
- ・松林博美(三宮)。
- ・金子豊(古郷)。
- ・野村晃(大市)。
- ・福谷竜夫(三和)。
- ・内田潤一(富田原)。
- ・山岡裕幸(大内)。
- ・古屋勝治(宮野)。
- ・岩崎富雄(陶)。
- ・藤本憲二(三宮)。
- ・河村秋男(上野小)。
- ・倉重浩(三和)。
- ・二川幸二(龜山)

表彰式は十一月二十三日十時から福祉センターで行なわれます。式の終了後、十時三十分から映画「アサンテ・サーナ」を上映しますが、一般のかたもご観覧ください。ようお知らせします。

■山口おやこ劇場・映画をみる会
 ・とき 11月22日(土) 14時40分
 ・ところ 市民会館大ホール

・映画 「ゆかいなピエロとにげだした六匹の熊」「走れくろねこビッキー」

会員は会員証で、会員以外のかたは4歳以上前売券250円、当日券300円

■センター人形クラブ会員募集

山口市老人福祉館では人形クラブ(東山人形)の会員を募集しています

・開講日 12月1日(月) 10時。毎月2回開講、10時30分~12時。

・会費 月 300円。別に材料代を実費徴収。

講師 豊田トヨ子

・申し込み 11月30日までに、山口市福祉センター(電話②-7121)へ。

■第5回レクリエーション研究会

・とき 11月26日(水) 18時30分~20時30分

・ところ 中央公民館

キャンドルサービスのしかたを研究します。どなたでもご参加ください。

参加されるかたは、トレパン、ズックなど運動のできる服装で。

■市民手話講習会の二期生募集

山口手話友の会では、ろうあ者と話ができるように講習会を開いていましたが、10月末で第一期生が修了し、ただいま二期生を募集しています。

みなさんの参加を待っています。

・期日 11月~2月、毎週金曜日、18時~20時

・場所 市福祉センター

・講師 山口手話友の会会員

・連絡先 山口手話友の会事務局 中部社会福祉事務所②-2237、金子一郎または、市福祉事務所 ②-4111 内線 316 木村義明まで。

小児マヒ生ワクチンの服用・50年度後期

・新規対象者 昭和50年1月21日から7月20日までの出生者

・第2回の対象者 昭和49年7月21日から50年1月20日までの出生者

・料金 無料

・服用できない人 有熱患者、下痢患者、病後衰弱者、種痘、麻疹ワクチン接種後1か月以内のもの。

	会場名	時間
11月27日(木)	吉敷出張所	9.30~10.00
	大歳川	10.20~10.50
	大平川	11.10~11.40
	大蔵小講堂	13.30~14.30
11月28日(金)	宮野出張所	9.30~10.00
	仁保生活改善センター	10.30~11.00
	小鯖出張所	11.20~11.50
12月1日(月)	湯田何遠亭	9.30~10.30
	大内出出張所	11.00~11.30
12月2日(火)	陶公公民館	9.30~10.00
	鑄銭司	10.20~10.50
	二島	11.10~11.40
	名田島	13.30~14.00

お知らせ

警察では、十一月を凶器使用犯罪の未然防止と取締りをすすめています。市民のひとり、ひとりが次のことについて十分注意しましょう。

猟銃をもっておられる人がふえています。保管を十分にしてください。



● 除草剤や毒劇物を正しく使いまししょう。除草剤の販売業者は買い手を十分確認して、買う者は必ず

十一月下旬内部塗装をする場合、三日間ばかり通行を制限す

授木下謙治くわしいことは中央公民館(電話②-1381)へ。

最近全国各地で、けん銃を使用した暴力団の対立抗争事件、過激派グループの爆弾事件、中高校生の爆弾つくり競争事件などが発生しています。

銃・刃物・火薬・毒劇物を正しく安全に保管しよう
 凶器使用犯罪追放運動

● 銃、火薬類を正しく取り扱いまししょう。猟銃や空気銃、火薬類を持つておられるかたは、保管庫にいて、他人がふれたり、盗難にかからないようにしまししょう。

● 不審だ!と感じたらすぐ一〇番へ。不審な凶器、火薬類を発見したときは、手をふれないで早く警察へ知らせまししょう。

市道昭和町・県庁線横断歩道橋塗替工事のための交通制限十一月十五日から十二月三日の間、市民会館前の歩道橋の塗替をします。

十二月から行なう公開講座の受講生を募集しています。十二月六日、小中学校における数学山大助教石田忠男。十二月二十日今日の理科教育山大教授徳光直。一月十七日食品添加物日本科学者会議会津泉日出子。二月七日 夏目漱石の文学山大教授水木精一郎。二月二十一日現代の老後問題山大助教授木下謙治くわしいことは中央公民館(電話②-1381)へ。

県政テレホンのご利用を

県は県政について気軽に相談できるように、県庁県民課に「県政テレホン(山口②-1233)」を設置しました。皆様のご利用をお待ちしています。

住宅金融公庫融資付分譲住宅の入居者募集

- ・団地名 七房団地(宮野七房)
- ・募集戸数 木造平家建22型 7戸
木造平家建24型 8戸
- ・分譲予定価額 954万円~1,050万円
- ・住宅金融公庫融資額 360万円
- ・選考方法 先着順に審査して決定
- ・申し込み 11月25日までに、中央3丁目センタービル2階山口県労働金庫本店(電話②-1300)へ。

職業訓練生募集

県下6か所の公共職業訓練校では、優秀な技能者を養成するため、次のとおり51年度の職業訓練生を募集しています。

- ▷機械金属関係 機械、板金、溶接、配管、自動車整備
- ▷電気関係 電気工事、電子機器、電気機器、無線通信。
- ▷建築関係 大工、左官、ブロック建築、建築製図。
- ▷その他 木工、塗装、洋裁、理容、美容、事務。

応募手続 入校希望者は、願書および添付書類を、学校および公安職業安定所を経由して、11月30日までに希望の公共職業訓練校へ提出してください。

潮汐表をお分けします

山口測候所(周布町2-1)では、昭和51年の山口地方潮汐表(防府港)を発行しています。日の出、日の入、満干潮の時刻などを掲載。一部100円郵送の場合は返信用切手(二部まで20円)を同封してください。

老人健康診査

老人のみなさんが、いつまでも健康で、楽しい生活を送っていただくように、こたしも健康診査を行ないます。診査は一般診査と、その結果によって精密診査を行なうこととなりますが、このたびは、まず、一般診査を行ないますので、ぜひ診査を受けられますようお知らせします。

・対象者 明治43年3月31日以前に生まれたかた。

ただし、3か月以内に医師の診察を受けたかた、現在入院、通院中のかた、福祉施設におられるかたなどは、受診の必要がありません。

・期間 11月17日~22日。毎日午前中

・場所 市内の希望の医療機関におでかけください。(通信診療所はのぞきません)

◎受診のときは「老人健康診査」といってください。

・もってゆくもの 健康保険証、老人医療受給者証(受給者のみ)、よく洗ったガラスびんにさかすき3ばいぐらいの尿を入れて持参してください。(尿をとるとき不純物がまじらないようにすること。)

・費用 無料(全額市が負担します)

・診査結果 療養を要するかた、精密診査を要するかたのみにお知らせします。

・その他 健康診査についてのお問い合わせは、市福祉事務所(電話②-4111 内線 316)へ。

● 刃物類は安全な場所に保管しまししょう。家庭の刃物類は使用しないときは、人目につかないところにしまっておきましょう。

● 必要量だけ購入し、不要な薬品は家庭におかないようにしまししょう。

● 日本科学者会議山口支部創立十周年記念公開講座